

製品名: Sds22 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17686**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP1R7
別名	PPP1R7; SDS22; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 7; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 22
遺伝子 ID	5510.0
SwissProt ID	Q15435
免疫原	抗血清はヒト PPP1R7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 136-185

背景

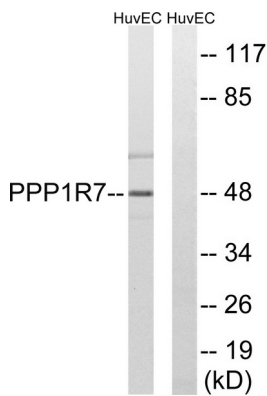
この遺伝子は、セリン/スレオニンホスファターゼであるプロテインホスファターゼ 1 の活性を制御するタンパク質サブユニットを

コードしています。コードされているタンパク質は、有糸分裂周期の完了と、プロテインホスファターゼ 1 を有糸分裂動原体へ誘導するために不可欠です。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 9 月]機能: プロテインホスファターゼ 1 の制御サブユニット。類似性: SDS22 ファミリーに属する。類似性: 10 個の LRR (ロイシンリッチ) リピートを含む。サブユニット: PPP1CA、PPP1CB、および PPP1CC/PPP1G アイソフォーム 1 と相互作用する。組織特異性: 広く発現している。

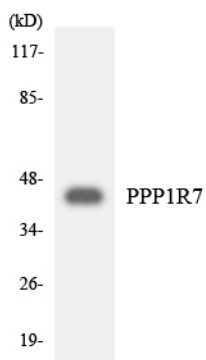
研究分野

-

画像データ



PPP1R7 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PPP1R7 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。